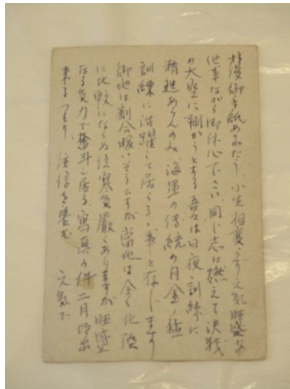


桶川飛行学校平和祈念館企画展示

「証言で織りなす桶川分教場」

戦後77年が経過し、当時の熊谷陸軍飛行学校桶川分教場のことを知る人は年々少なくなっています。桶川飛行学校平和祈念館では当時の様子を知る人たちから、貴重な体験談を収集し、記録として残すことを現在進めています。

今回は、これまで取材した内容を中心に、当時の桶川分教場や桶川市の様子について、関連する資料とともに紹介します。



生徒が友人に宛てた手紙



発動機を取り外す訓練



洗濯の様子

展示期間 令和5年1月21日（土）から
令和5年3月21日（火・祝）まで
※月曜日・1月31日（火）・2月28日（火）は
休館となります。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 桶川分教場の日常

熊谷陸軍飛行学校桶川分教場は1937(昭和12)年に設置され、飛行機の基本操縦を教える施設としての役割を担った。全国から集まった生徒たちは、兵舎棟に寄宿し、操縦訓練や授業、身体訓練に励んでいた。この章では2人の戦争体験者の証言を紹介する。



教科書



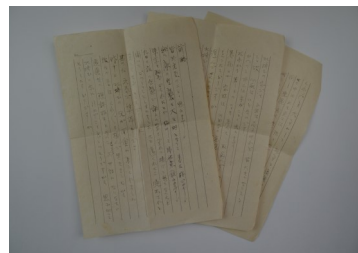
昼休みの様子

II. 教官 伍井芳夫

伍井芳夫氏は桶川分教場で教官を務めた方でその温厚で誠実な性格から、多くの出身者の記憶に残っている。

伍井氏は1937(昭和12)年から熊谷陸軍飛行学校附を命じられ、1943(昭和18)年に桶川分教場に赴任する。

ここでは伍井氏と面識のあった方々の証言を紹介する。



家族に宛てた手紙



自宅での写真

III. 少年と桶川分教場

桶川分教場が開校した際、当時は飛行機そのものが珍しく桶川駅から分教場まで飛行機の見物に来る人の列ができるほどだった。飛行学校の生徒は『若鷲』として盛んにマスコミなどに取り上げられ、飛行機や飛行機の操縦士は子ども達の憧れの的であった。ここでは当時、桶川分教場が子どもの目にはどう映っていたのかを、ある一人の方の証言から見ていく。



週刊少国民

関連企画

○「戦争体験者の証言」の上映 (※埼玉県平和資料館所蔵DVD)

作 品：臼田智子氏 (旧姓 伍井智子氏) 「戦没者の遺児としての体験」
期 間：令和5年1月21日(土)から3月21日(火・祝)まで (※休館日を除く)
時 間：午前11時、午後2時 (約30分)
場 所：桶川飛行学校平和祈念館 展示室 4
予 約：不要